

領域 (Domains)	コンピテンシー (Competencies)	パフォーマンス記述書 (Performance Statements)	評価内容・項目	学習方法	評価方法	e-ラーニングコンテンツ		
1. 麻薬教育認定薬剤師のベース・コンピテンシー	1.1. プロフェッショナリズム	1.1.1. 医療用麻薬および不正薬物に対する国民の意識を理解しようと行動できる。	1. 医療用麻薬を使用したことがない一般人3名を対象に医療用麻薬に対する意識に関するアンケート調査を実施する。	LMSを用いた学習	アンケート実施・提出	1. 麻薬教育認定薬剤師のプロフェッショナリズム		
		1.1.2. 麻薬教育の意義・必要性を理解している。	1. 自身の活動する地域や置かれた立場から、麻薬教育の必要性について自身の考えをレポートとして提出する。	LMSを用いた学習	レポート			
		1.2. 関連法規の知識	1.2.1. 薬物関連5法およびその他の不正薬物に関連する主な法律を理解している。	1. 薬物関連4法（麻薬および向精神薬取締法、大麻取締法、あへん法、覚せい剤取締法）に規定する薬物名とその輸入/輸出・製造・栽培・譲渡/譲受・所持・使用等の罰則を説明できる。 2. 「国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律（麻薬特例法）」の概要を説明できる。 3. 不正薬物に関する主な法律（毒物及び劇物取締法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法））の関連部分について概要を説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	2. 麻薬教育に必要な関連法規の知識	
	1.3. 自己研鑽	1.3.1. 医療用麻薬や薬物乱用に関連する自己学習に励み、継続的に知識を深めている。	1. 医療用麻薬や薬物乱用に関連する学会やセミナー等に参加し、その内容を報告する。	LMSを用いた学習・学会参加	単位申請	1. 麻薬教育認定薬剤師のプロフェッショナリズム		
		2. 医療用麻薬適正使用に関するコンピテンシー	2.1. がん・緩和医療の知識	2.1.1. がん治療の概要を説明できる。	1. がん対策基本法及びがん対策推進基本計画の概要を説明できる。 2. がん患者をとりまく状況やがん治療に伴う副作用の概要を説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	3. がんの基礎知識
				2.1.2. 緩和医療の概要を説明できる。	1. 緩和医療の定義を説明できる。 2. 全人的苦痛（身体的、精神的、社会的、スピリチュアル）の概念を説明できる。 3. 緩和医療の有用性及び意義を説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	4. 緩和医療の基礎知識
	2.2. 医療用麻薬の知識		2.2.1. 医療用麻薬の種類や特徴を説明できる。	1. 医療用麻薬の種類や剤形、投与方法を説明できる。 2. 医療用麻薬の薬理作用、薬物動態の概要を説明できる。 3. 医療用麻薬と不正薬物の違いを説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト 小テスト	5. 医療用麻薬の種類と作用 6. 医療用麻薬の薬物動態と剤形	
			2.2.2. 医療用麻薬の副作用を説明できる。	1. 医療用麻薬の一般的な副作用と注意すべき副作用を説明できる。 2. 医療用麻薬の過量投与時の兆候や対処方法を説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	7. 医療用麻薬の副作用	
			2.2.3. 医療用麻薬に関する周辺知識を有している。	1. 主な医療用麻薬の国内での消費量やその変遷について説明できる。 2. 医療用麻薬の国内および国外の消費量および必要量の差、他国と比較した際の日本の状況を説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	8. 医療麻薬に関する周辺知識	
2.2.4. 医療用麻薬の適正使用について説明できる。			1. 医療用麻薬の取扱いに関する一般的事項（麻薬免許証、管理、施用・交付、配布、事故届など）を説明できる。 2. 患者・家族による医療用麻薬の適正な使用方法（保管、譲渡、廃棄など）を説明できる。 3. 医療用麻薬の適応症について理解している。 4. 医療用麻薬の使用に関する国内のガイドラインでの位置付けを説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト 小テスト 小テスト	9. 医療用麻薬の適正使用		
2.3. 医療用麻薬の乱用・依存のリスク	2.3.1. 医療用麻薬の乱用・依存について説明できる。	1. 医療用麻薬による乱用・依存のリスクやその兆候を説明できる。 2. 医療用麻薬による身体依存および精神依存について説明できる。 3. 乱用・依存のリスクがある向精神薬の分類や代表的な薬物を挙げられる。 4. ベンゾジアゼピン系薬の乱用や依存について説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト 小テスト 小テスト	10. 医療用麻薬による乱用・依存のリスク			
	2.3.2. 医療用麻薬の乱用・依存に関する周辺知識を有している。	1. 医療用麻薬の国内外での乱用・依存、過量投与による死亡の発生状況を説明できる。 2. 医療用麻薬の乱用・依存に関する国内外の情報収集に努めている。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト レポート形式	8. 医療用麻薬に関する周辺知識			
2.4. 医療用麻薬適正使用の普及活動	2.4.1. 医療用麻薬適正使用に関する国民への普及活動を把握している。	1. 医療用麻薬の使用に対する国民の意識に関する調査結果を説明できる。 2. 厚生労働省、各自治体や関連団体による医療用麻薬の適正使用に関する普及活動を把握している。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	レポート形式 レポート形式	11. 医療用麻薬適正使用の普及活動			
	2.4.2. 医療用麻薬の適正使用の意義を積極的に国民に普及できる。	1. 一般人3名（医療従事者以外、年齢や医療用麻薬の使用歴は問わない）を対象に、医療用麻薬の適正使用の意義を説明し、その意識変化を調査報告する。	LMSを用いた学習	レポート形式				
3. 薬物乱用防止に関するコンピテンシー	3.1. 不正薬物の知識	3.1.1. 主な不正薬物の概要を説明できる。	1. 厚生労働省で指定している不正薬物の種類を調べられる。 2. 主な不正薬物の分類について理解している。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	レポート提出 小テスト	12. 不正薬物の種類と作用		
		3.1.2. 不正薬物の危険性を説明できる。	1. 主な不正薬物の有害な作用や致死的な摂取方法を理解している。 2. 主な不正薬物による身体依存および精神依存について説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	15. 不正薬物に関する周辺知識 13. 不正薬物の危険性		
		3.2. 薬物乱用・依存の知識	3.2.1. 不正薬物や薬物乱用に対する国民の意識等を説明できる。	1. 不正薬物を摂取してしまう主な要因を理解している。 2. 不正薬物や薬物乱用に対する国民、特に青少年の意識に関する各種調査結果を説明できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト レポート形式		
			3.2.2. 不正薬物に関する周辺知識を有している。	1. 国内外における主な不正薬物の乱用状況（主に乱用される薬物、使用者数、地域など）を把握している。 2. 国内外での不正薬物乱用の変遷を理解している。 3. 主な不正薬物の汎用される俗名や隠語および代表的な摂取方法について把握している。 4. 主な不正薬物の流入ルート及び販売ルート（販売サイト）を把握している。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト 小テスト 小テスト	14. 不正薬物の乱用状況 15. 不正薬物に関する周辺知識	
			3.2.3. 薬物依存の治療法について説明できる。	1. 薬物依存症患者の苦痛を説明できる。 2. 薬物依存の治療法（認知行動療法やグループアプローチ）について知っている。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト	16. 薬物依存の治療法	
		3.3. 薬物乱用防止活動の知識	3.3.1. 各機関・団体や各地域での薬物乱用防止活動を把握している。	1. 厚生労働省、各自治体や関連団体による薬物乱用防止活動の概要を説明できる。 2. 自身が活動する地域での薬物乱用防止活動の内容を紹介できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	レポート 調査報告	17. 薬物乱用防止活動	
	3.3.2. 薬物依存者の社会復帰に関する各地域の活動を把握している。		1. 自身が活動する地域や主な都市での薬物依存に対応できる専門の医療機関を挙げることが出来る。 2. 自身が活動する地域の依存者の社会復帰に関する活動を紹介できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	調査報告 調査報告	18. 薬物依存者の社会復帰		
	3.3.3. 自身が積極的に薬物乱用防止の普及活動を行うことができる。		1. 薬物乱用防止の普及活動を行うための工夫を凝らした資料を作成できる。 2. 自地区における学校薬剤師と連携を図り、薬物乱用防止教室の実態や学校保健委員会のテーマを調査する。 3. 薬物乱用防止の普及活動を実際に行うことができる。（更新者用のコンピテンシー）	集合研修 フィールドワーク 実地研修	プレゼンテーション 調査報告 報告書	17. 薬物乱用防止活動		
	4. 教育スキルに関するコンピテンシー	4.1. 教育の学習理論	4.1.1. 教育における教育原理・教育方法論の概要を説明できる。	1. 教育を実践する時に考えておくべきことを知っている。 2. 学習者のモチベーション、先行知識の影響について知っている。 3. 継続的な改善の方法を知り、実践できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト 小テスト	19. 教育の学習理論	
			4.2. 教育スキルの修得	4.2.1. 研修を実践するスキルを有している。	1. 学習者分析ができる。 2. 学習者に合わせて研修内容と方法を計画できる。 3. 事前事後テストを作成し、活用できる。 4. 教材資料を作成できる。	LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習 LMSを用いた学習	小テスト 小テスト 課題提出 課題提出	20. 教育スキル
				4.2.2. 効果的なファシリテーションが実践できる	1. 効果的なスピーチを実践できる。 2. 課題に対するファシリテーションを実践できる。	集合研修 集合研修	プレゼンテーション プレゼンテーション	
		4.2.3. 自身の教育スキルを継続的に磨いている。	1. 麻薬教育認定薬剤師の集合研修で学習した内容を応用できている。 2. 自身の研修を振り返り、改善できる。（更新者用のコンピテンシー）	集合研修 実地研修	プレゼンテーション 振り返りシート			